

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 名古屋東急ホテル  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 久野 峯一  
 幹事 萩原 喜代子  
 広報会報委員長 牧野 登志子

No. 13

## 夢をかたちに Make Dreams Real

2008~2009年度 RI会長 李東建

きょうの例会  
 第1244回 平成20年10月14日(火)  
 職業月間  
 優良従業員表彰

先週の記録  
 第1243回 平成20年10月7日(火) 晴  
 米山月間

- ◆“君が代”
- ◆“奉仕の理想”
- ◆ゲスト紹介

米山奨学生 グエン・ティ・スワンさん

### ◆出席報告

会員	55 (53) 名	出席	45名
出席率	84.91 %		
前々回	9月16日 (修正出席率)	96.15 %	

### 萩原幹事報告

- 1) 次回例会終了後、指名委員会を開催致しますので担当の方はお残り下さい。
- 2) ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

### 久野会長挨拶

こんにちは、10月に入り初めての例会にゲストとして米山奨学生のグエン・ティ・スワンさんよくおいで頂きました。ゆっくりお過ごし下さい。

10月は「職業奉仕、米山月間」です。職業奉仕は、ロータリーにおいてクラブ奉仕に次ぐ第2奉仕部門であります。ロータリアンが、その職業上のあらゆる関係において奉仕の理想を生かしていくことであり、ロータリーはそれを支援しなければなりません。具体的には、①あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り推進すること、②あらゆる職業の社会に対する価値を認めること、③自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てることです。

また、米山といえば米山奨学事業であります。日本のロータリーが力を入れている国際奨学事業は、3つ

です。①ロータリー財団による奨学金、②青少年の国際的な学生交換、③米山奨学金です。

今日は①、②は省略し③「米山奨学金」に触れましょう。正式には、財団法人ロータリー米山記念奨学会が行う国際奨学事業を支えるための基金です。日本に留学する外国人を対象とする点で前二者と全く違います。

1953年(昭和28年)に東京ロータリー・クラブが戦後のアジア諸民族の融和に役立てる目的で主に東南アジア諸国からの留学生に奨学金を支給するための設定をしました。そして、これを東京ロータリー・クラブ創立者米山梅吉氏の功績を記念する意味で米山基金と名付けられ、国際的にも日本独特の優れた国際活動であると称賛され、全国的に拡大し現在に至っています。

今日はこの後、その米山奨学生グエン・ティ・スワンさんに卓話をしていただきます。皆様方にも、これからも一層のご協力をお願い致します。

さて、10月1日は「衣替え」であります皆様はもう切替えられましたか。季節に応じて衣服を替えるのは四季のある日本的な事ですが、古く平安時代には、年に4・5回衣替えがあったそうですが、しだいに簡易化され現在のような夏服と冬服に衣を替える習慣となったのは、江戸時代以降のことです。官庁、学校等では6月1日と10月1日が衣替えの日と定められています。

また、10月1日は「法の日」であり、10月1日~15日は「芸術祭」であり、10月1日~31日は「赤い羽根共同募金」の運動期間でもあります。その他10月は、体育の日や多くの祭、行事に振り回される月であります。御健康第一にお過ごし下さい。

◆卓話 米山奨学生 グエン・ティ・スワンさん



## 私の家に来た外国人

私の住んでいるハイフォンは港といってもベトナムのほかの大都市より発展が遅くて、静かなところ。日本の街のように出かけると外国人の姿をよく見ることはありませんでした。もちろん、仕事で来られる人々はさまざまですが職場関係者以外は接することはないですね。そのため、市民は外国人と近く接する機会が少ないです。私も外国語を勉強しなければ、こんなに多くの外国人の皆さんとの出会いはないでしょう。

よく覚えていませんが、多分、一番最初にあった外国人は日本語を教えてくださいました日本人先生だと思えます。その後、別のところで、偶然に先生のお友達と知り会いました。私のうちに始めて尋ねてくれた彼らです。今でも恥ずかしさはまだ覚えています。大道から家への細い小道を歩いていたお客さんは周りの人々に珍しく見られました。子供たちは驚いて面白いように騒いで彼らのあとに歩いていました。ちょうど旧正月ですから。その日お母さんは正月の料理を作ってくれました。私以外は日本語ができないから食後私しか会話できませんでした。

4年生、日本大使館で在日日本人のおじさんに出会いました。おじさんは日本語を個人的に教えているので、私に対して最初生徒としていろいろ教えてくださいました。卒業後、実家に帰って働くことにしました。その間におじさんとドイツ人のお友達が訪問されました。また大道から小道へ。おじさんは足がよくないから歩くのはとても遅いです。ああ皆にぎよると見られちゃうと私が心配して、うちまでの道が広がったら、タクシーが門までいけるだろうと望みました。今度は子供は騒いでいなく不思議な視線をしていました。三人で、ハイフォンのお寺とか見に行きました。その後、来日する前におじさんはもう一回こられました。だけど、私はもう恥ずかしく感じなく、おじさんとゆっくり家まで迎えにいったり出かけたりました。

そして、今度の夏休み一ヶ月帰国する間に研究室の先生と他の院生もベトナムに来て私の家までこられました。前回の来られたお客さんはすでに長い間ベトナムに住んでいたのベトナム人のことになれた人たちです。しかし、今度は初めて来る院生たちです。3人組みで、女の子はうちに泊まってもらって、後、男性はホテルで泊まるようにしました。ちょうど、家族全員がそろっていたときでした。小道はタクシーが余裕で入れるぐらいの幅に改造されました。しかし、相変わらずお客さんを大道から歩くようにしました。しかも、私がタクシー代の支払いで三人を門まで先に行ってもらいました。お父さんは門に出て迎えてくれました。お客さんは家の周りに出たり見に行ったりしても自由にさせます。近所はもうなれたようだし、私もあまり自分が住んでいること、人々に恥ずかしくない

ですから。友達を市場に連れたりお母さんと一緒に出かけてもらったりしました。言葉が両方とも通じないが笑顔で微笑みいっぱい。男性はすこしにぎやかなのところにとまって自分で朝ごはんを食べたり、コーヒーを飲みにいったりしたようです。

あれからはもう半か月立ちました。友達から写真や両親への手紙をベトナム語に訳して思い出が沢山きています。私は最初に日本とベトナムの貧困さで、そして、自分がいたとこを無形の壁を作ってしまいました。しかし、お互いにまったく知らずが言葉よりも親切さは心から分かち合って、いい出会いができる覚悟しました。お母さんは言葉はぜんぜんわからないが私の友達をいつも、ベトナム人のように接待したりお父さんはいつも、そのおじさんの名前を忘れて「あじのもと」とか言ってしまったが、またおじさんに会いたなど時々言っていたりします。私は来られた友達と両親に感謝の気持ちをしています。

また、いつか外人の友達を家に連れてきます。

### ◆吉田会員資格委員長報告



去る7月7日東京お台場グランパシフィックホテルにおいて、李東建(リー・ドンカン)RI会長主催の「会員増強会議」が開催されました。

李RI会長、RI会員増強委員長はもとより、日本全国から1200名のRI理事・ガバナー

会長が召集され、丸一日協議・討論が行われました。

その中、6クラブによる事例発表が行われ、当2760地区から名古屋東南RC直前会長の伊藤秀雄氏が発表をされまし。勿論その年度のみで行った訳ではなく、会員増強委員長時より数年の計画を立て成功されたとのこと。その能力を買われ伊藤氏は本年度2760地区の会員増強委員長に就任されています。

地区会員増強委員会ではRI会長主催会議の様を録画し、3時間ビデオ1本および30分ダイジェスト版1本に纏め全国のクラブへ発送されました。返品があったかどうかは聞いておりませんが、地区委員会からの強い依頼がありましたので当クラブでも購入いたしました。本日はその中の伊藤氏事例発表の15分の部分のみご覧頂き、会員増強の参考にして頂きたいと存じます。

◆ニコボックスは次回掲載させていただきます。